

# 医療公開講座のお知らせ

当院では毎月「医療公開講座」を開催しています。

病気、お薬、食事、運動、医療費など、様々な内容で少しでもみなさまのお役に立ちたいという  
思いから情報発信しております。

今後も下記の日程・内容で講座を行いますので、みなさまふるってご参加ください。

日付	内 容	講 師	場 所
平成29年 8月4日(金) 15:00~16:00	ロコモティブシンドローム ～転倒を予防しよう!!～	リハビリテーション科 松本 純一	春日部中央総合病院
平成29年 8月10日(木) 15:00~16:00	足の皮膚病変 ～よく見ることの重要性～	皮膚科 中村 哲史 医師	春日部中央総合病院
平成29年 9月7日(木) 15:00~16:00	「大腸検査」を受けるために 気をつけること(仮)	検査科 佐藤 陽介	春日部中央総合病院



参加の申し込みは、総合受付または地域医療連携室へお声掛け  
いただぐか、こちらの番号へお問い合わせ下さい。

春日部中央総合病院 地域医療連携室  
TEL 048-736-1221 (代表)



IMS グループからのお知らせ

## 医療・介護のことでお悩みはありませんか？

IMSグループIMS総合サービスセンターが、みなさまからの医療・介護のご相談をお受けいたします。  
詳しくはホームページをご覧ください。

FREE 0800-800-1632

※「050」からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。

03-3989-1141 (代表)

受付時間／平日8:30~12:30 土曜日／8:30~12:30(日祝・年末年始休み)



IMS総合サービスセンターのサービス内容や、IMSグループの最新情報をご覧いただけます。

<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-21-11 オーク池袋ビルディング8F

IMS グループ 医療法人財団明理会

## 春日部中央総合病院

〒344-0063 埼玉県春日部市緑町5丁目9番4号

TEL:048-736-1221 FAX:048-738-1559

<http://www.kasukabechuo.com>

## 編集後記

夏至を過ぎてこれからが夏本番です。日  
増しに暑くなりますが、皆さまお変わりあ  
りませんか？夏バテをしないように、夏な  
らでの美味しいものを食べて、夏を元気  
に乗り切りましょう！

認定施設

厚生労働省臨床研修指定病院／日本医療機能評価機構認定病院／日本内科学会認定医制度教育関連施設／日本循環器学会認定循環器専門医研修施設／日本清血管イン  
ターベンション治療学会研修施設／日本不整脈学会・日本心電学会認定不整脈専門医研修施設／腹部大動脈瘤ステントグラフト実施施設／胸部大動脈瘤ステントグラフ  
ト実施施設／日本外科学会専門医制度修練施設／日本消化器外科学会専門医制度修練施設／日本整形外科学会専門医研修施設／日本脳神経外科学会専門医認定制度指定訓練施設／日  
本泌尿器科学会認定専門医教育施設／日本透析医学会専門医制度教育関連施設／日本静脈線維瘤専門会NST稼働施設／日本麻酔科学会認定病院／看護大学・専門学校実習病院

IMSグループ 広報誌 プラザIMS

2017.8

Vol.33

春日部中央総合病院

ウイズ ア ウィル

## 頸椎症性脊髄症

整形外科 片山 一雄

整形外科では、箸の使用や字を書くことが不器用（巧緻運動障害）、手指のしびれ、手や腕の力が入りらない（脱力）、足のもつれや階段で手すりが必要（歩行障害）、排尿遅延や残尿感（膀胱機能障害）などの症状が、一つまたは複数あれば、まず頸椎症性脊髄症を考えます。これは、脳から四肢や膀胱に電気信号を送る頸髄が様々な原因で圧迫を受けることが原因です。圧迫の原因是、加齢により椎間板の膨隆や骨のとげが生じ頸髄が通る脊柱管が狭くなる頸椎症、頸椎椎間板ヘルニア、頸椎後縦靭帯骨化症などがあげられます。日本人は、頸部脊柱管が欧米人と比較的して狭く、発症しやすいといわれています。その他、頸椎が転倒や事故によって、頸椎が過伸展の衝撃をうけ症状が出る場合があります（頸髄損傷）。診断は、冒頭に挙げた症状のほか、四肢腱反射の亢進、指を閉じようとしても小指が離れる(finger escape sign)、手指の握り開き動作が10秒間に20回以下（10秒テスト）、MRI検査で脊髄の圧迫所見などから総合的に判断します。ただ、鑑別疾患として、脳梗塞、脱髓性疾患、筋萎縮性側索硬化症（ALS）といった運動ニューロン疾患などの神経内科疾患の可能性があるので注意が必要です。治療は、軽症の場合は経過をみますが、日常生活に支障が出るような歩行障害・巧緻運動障害・脱力・膀胱機能障害がある場合は手術的治療を選択します。手術法は、頸部前面から行う頸椎前方除圧固定術と頸部後面から行う頸椎脊柱管拡大術があります。頸椎前方除圧固定術は、椎間板ヘルニア、脊髄の圧迫範囲が狭い場合、頸椎後弯合併の場合に行います。一方、脊髄の圧迫の範囲が広い場合や高齢者は脊柱管拡大術を選択することが多いです。術後の成績は、術前の症状が中程度までなら概ね良好ですが、かなり進んでいる場合は回復が困難なことがあります。当科でも、この10年で300例ほどの手術件数があります。冒頭にあげた症状を感じたら、まずは整形外科を受診してください。



左：術前 右：術後

病院理念

愛し愛される病院

基本方針

- 求められる医療の実践  
24時間、より早く安心安全な診療
- 地域連携推進  
地域に密着した医療の提供
- 医療人としての質の向上  
医療人の自覚と技術向上への教育



よろしく  
おねがいします

平成29年7月から泌尿器科に赴任しました大村稔です。

約4年ぶりの春日部勤務となります。泌尿器領域の良性疾患から悪性疾患まで、迅速な対応を心がけて診療にあたろうと思っております。泌尿器領域のことでお困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。

患者様ご自身の全身状態を踏まえての最適な治療を提供できるよう努めていますので、宜しくお願ひいたします。



泌尿器科 大村 稔

平成29年7月から外科・消化器科へ着任致しました、五十嵐陽介と申します。もともとの出身は新潟で、埼玉県民となるのは初めてとなります。大学ではアメリカンフットボール部に所属しており、体力には自信があります。

患者さんの言葉に耳を傾け、患者さんに寄り添う医療ができるよう、また春日部の医療に貢献できるよう精一杯頑張って参ります。宜しくお願ひ致します。

外科・消化器科 五十嵐 陽 介

## 新しいCT装置の紹介

昨年の夏より当院に新しいCTが追加になりました。その機能についてご紹介します。

### ◆被ばく

新しいCTは既存のCTに比べ、最大70%の被曝低減が可能になりました。

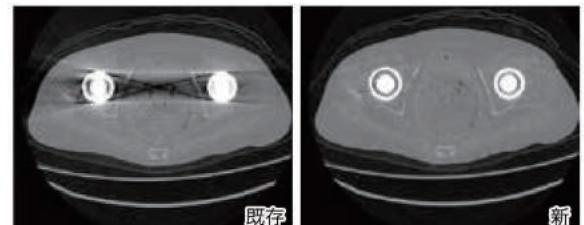


### ◆検出器の数

人体を透過した放射線を受けるフィルム側(検出器)が大きくなり、 $0.5\text{mm} \times 64\text{列} \Rightarrow 0.5\text{mm} \times 320\text{列}$ となったため、心臓や頭部を最速0.275秒での撮影が可能になりました。

### ◆撮影時間

管球の回転速度、寝台の移動速度が速くなつたため、撮影時間が短縮されました。その為、呼吸停止時間も短縮され、息を長く止められなくても良好な画像を提供可能です。



### ◆開口径

開口径が72cmから78cmと大きくなつたため、仰向けになるのが辛い方も楽な姿勢で検査が可能です。

### ◆金属の偽所見の軽減

新しいソフトウェアにより、体内金属が画像に及ぼす偽所見を軽減し、診断能を向上します。



### ◆ふたつの装置の使い分け

新しいCTでは、得意な分野である心臓を含む血管系の検査の際を優先して行っています。既存のCTも被ばく線量に関して管理されていますので、放射線障害を心配する必要はありません。

## 平成29年度 春日部市特定健康診査

電話予約承ります

9月・10月  
日曜日健診  
行います！！

春日部中央総合病院 TEL:048-736-1221 (代表)

※月曜～金曜 9:00～17:00 土曜 9:00～12:00

お電話でのご予約

ご来院時のご予約

《予約場所》 総合受付

①受診券を含む必要書類 ※必要書類は、ご記入の上、お持ち下さい。

②当院の診察券(初診の方もご予約を承ります)

③健康保険証

対象者 春日部市在住40歳以上の方

実施期間 平成29年6月1日(木)～平成29年10月31日(火)

実施時間

・月曜日～金曜日

午前／8:30～11:30

(完全予約制)

午後／14:00～15:30

(要予約)

・土曜日

午前／8:30～11:30

(完全予約制)

・日曜日

午前／8:30～12:00

(完全予約制)

※9月、10月のみ

※例年、9月以降は大変混み合います。6月～8月のご予約をお勧め致します。

※駐車場に限りがございますので、公共交通機関をご利用下さい。

## 減量に対する運動について

### ◎標準体重とBMI

標準体重とBMIは簡単な計算で算出できます。

標準体重=身長(m)×身長(m)×22  
 $BMI = \frac{\text{体重(kg)}}{\text{身長(m)}^2}$

BMIは18.5未満が「低体重(やせ)」、18.5～25未満が「普通体重」、25以上が「肥満」となります。BMIが22になるときの体重が標準体重となり、もっとも病気になりにくい状態であるとされています。標準体重とBMIを算出して、減量の目安や変化を追います。

### ◎運動について

運動するためのエネルギー源に、糖質や脂肪などがあります。有酸素運動は脂肪を燃焼する運動として知られていますが、いきなり脂肪をエネルギー源として使っていくわけではありません。有酸素運動開始10分程度は血中の糖質が主にエネルギー源として使われ、次第に血中の脂肪を使っていく割合が多くなります。血中のエネルギー源が不足してくる20分程度から脂肪細胞として蓄えられている内臓脂肪や皮下脂肪がエネルギー源として使われています。

そのため運動内容は有酸素運動(ウォーキングや自転車など)で継続時間は少なくとも10分で1日20～60分の運動を、週に3～5回実施すると良いとされています。また運動の強度は「会話ができる程度」、「やや汗が出るくらい」、「楽である～ややきついと感じる」くらいの運動を実施すると良いとされています。

